#### RID2600 2022~2023 第36年度伊那中央ロータリークラブ週報



事務所:長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日:毎週火曜日 例会場:海老屋料理店 0265(72)2158 会長:平澤 理 副会長:藤澤健二 幹事:杉本徳治 公共イメージ向上委員長:市川満貞



2022-2023 国際ロータリーのテーマ

IMAGINE ROTARY 2022-2023 RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ <カナダ (オンタリオ州) >



第1642回 完全リモート例会 令和4年11月29日(火)



□ 点 鐘

12:30

#### ■ 会長談話

#### 平澤理会長



数年前、民生児童委員をしていたこともあり、今年は3年に一度の改選の年。そんなことで思う所を述べさせて頂きます。

今や少子高齢化が急激に進行し、加えて福祉予算の膨張もあり、地域で生活することを望むお年寄りは地域が支える、いわゆる「地域包括ケア」の施策が推し 進められています。これらの事情を背景に、高齢者の方々がこの地域に住んでい

て本当に良かったという実感を持てるような様々な事業に、当時民生委員として取り組みました。

今後の課題は、市及び社協の「脳いきいき教室」や「元気アップ教室」のように、高齢者が健康を保持できる事業へより多くの方々が参加できるような工夫をしなければなりません。特にコロナ禍の中で、誰とも話をしない日が多い、近所との付き合いがないなど、社会から孤立した状況が長く続くと日常生活で不安を感じたりすることにつながります。そんな不安な日々を支えていくために、地域で楽しみを共有し、人と人とがつながれる「ふれあいの場」が必要不可欠になります。

参加をためらっている高齢者の方々を、会話の現場にお誘いできるような「地域の縁側」をつくり、そのことによって「地域の一員である」という認識を深めることが、今求められている事なのではないでしょうか。



#### ■ 委員会報告

#### ・11月26日(土)地区インターアクト委員会・顧問教師連絡会の報告

#### 井上修地区インターアクト委員



去る、11月26日(土)、オンラインで地区インターアクト委員とインターアク ト顧問教師の合同会議が 16 名参加で行われました。各インターアクトクラブの活 動報告と今後のスケジュールの確認でした。

※伊那西インターアクトクラブの報告は、天竜川河川清掃、ロータリー財団の 🌌 未来へつなぐ森林づくりへの参加、留学生の交流会 ( 高校生 5 名、顧問、留学生 6 名、

ロータリアン 10 名の参加)に加え、今後コロナ終了後には高校の例会にこのロータリアンが参加して いく方向を話させて頂きました。

※青少年奉仕委員会委員長、若林氏に再度、青少年育成基金が却下された旨お伝えし、再度交渉し て頂くことになっています。



- a. 冬合佰:ロケイニングにより交流を図る 日時:2023年1月7日 場所: 勤労者福祉センターをベースに松本市
- b. RYLA (上沢年度) 2023.5月13日、14日 (駒ヶ根RC主催)
- c. 地区委員会·顧問教師連絡会·懇親会 日時:2023.2 場所:松本Mウィング
- d. 白馬スキー合宿 日時:20233,22 (水)~24(金)

#### ・11月27日(日)地区職業奉仕セミナーの報告 宮原英幸職業・社会奉仕委員長



去る11月27日、長野市ホテルメトロポリタン長野を会場に開かれた同セミナー にオンライン参加しましたので、報告いたします。今回のテーマは"ロータリー から信州を元気に「ロータリーの心と原点」"です。

開会後、阿部長野県知事及び(一社)プラチナ構想ネットワーク会長の小宮山 | 宏氏(第 28 代東京大学総長・三菱総研理事長)による講演、引き続き、第 2600

地区職業奉仕委員長品田氏(南佐久RC)をファシリテーターにお二人と上沢ガバナー(須坂五岳RC) によるパネルディスカッションが行われました。

阿部知事からは"しあわせ信州"の実現に向けての地方創生の取組に関る基本的な考えについての 講演がありました。今年から 4 期目の任期が始まっていますが、4 年間の基本目標は危機克服(確か な暮らしを守り抜く)・現状打破(真に豊かな社会を創る)・共創実行(県行政を真に役立つ組織へと 変革する)の 3 点を挙げられました。現場から信州と日本の変革に取り組むこと、そのためには対話 と共創が重要で、行政だけでできる事は限られており県民との対話により健全な民主主義を目指した いとのことでした。また県の施策として、コロナ対策・森林政策(森林づくり県民税等)・結婚子育て 支援の話題などが紹介されました。これらはいずれも SDG s の目標とも合致し、各地共通の課題であ る人口減少や気候変動・経済発展への取組は、RCの目指す奉仕の精神とも合致するものでもあります。

また、小宮山会長からはプラチナネットワークの活動紹介がありました。 未来のあるべき姿を提案し、 社会実装することを目指す活動は興味深いものでした。現在は人類史の転換期にあり、「地球・人間・ 社会 - 像の具体化が必要であること、日本は過去から課題先進国であり課題解決先進国となりうること、 人財育成と広域連携でのポテンシャル活用が必要であることなどを、資料を提示いただきながら説明 されました。理念の形成・普及から人財育成を通じて社会実装していく筋道の提案がありました。実 は日本は資源国であることが紹介され、驚きました。また、長野県での開催のせいか、森林産業を創る重要性も強調していました。教育について、年長者が"教える"という意識の改革も強調されていた点には共感しましたし、技術革新のテンポも速く、年長者の"知らない"という視点が寧ろ邪魔になるという指摘は重要と思いました。

既成概念に囚われがちな世代への貴重な教訓を得たプログラムでした。

#### ・11月27日(日)伊那市カレー大作戦の報告 宮下健奉仕プロジェクト委員長



11月27日(日)カレー大作戦を実施しました。前回まで、海老屋料理店さんでカレーを提供して頂いていましたが、繋忙期と重なってしまい、会場を「伊那まちBASE」に移して50食配食しました。カレーは上牧に在る「あすなろ」さんから無償で提供して頂きました。感謝申し上げます。

当日朝、米四升を太田会員と準備し50食は充分にあるであろう・・・と思っていましたが、ご飯大盛サービス精神が仇と成り、最後はかなり調整盛に成ってしまった事は反省です。

カレー大作戦は年内最後ですが、クリスマスプレゼント会が12月27日(火)17時からエレコム・ロジテックアリーナで開催されます。ご寄付いただいたお米や缶詰、お菓子などの食品を配布させて頂きます。

※自社製品、缶詰、乾麺、レトルト食品などの賞味期限が1ヶ月以上あるもの 事務局または宮下(090-1036-7225)までお問い合わせください。

### ・11月27日(日)~28日(月)分水ロタリークラブとの友好事業打合せ会の報告



#### 熊谷健友好委員

去る11月27日日曜日、戸倉上山田温泉の「湯本柏屋」にて、分水ロータリークラブとの友好事業打合せ会が開催され参加してまいりました。分水ロータリークラブからは会長、幹事はじめ5名が参加。当クラブからは、太田親睦活動・友好委員長、清水親睦活動友好委員、田中親睦活動友好委員と私の4名で参加して

きました。

コロナ禍の影響もあり、過去 3 年間事業が行えなかったという経緯を踏まえ、今年度は何とか何とか開催したいという意見がまとまりました。具体的には、令和 5 年 4 月 16 日~ 17 日、燕市分水町で行われる「おいらん道中」に合わせ、当クラブから分水町に伺い、見学するツアーを行う、ということに決定しました。メンバーの皆さんは今から予定を組んでいただき、是非多くの参加をお願い致します

なお、来年度は、高遠桜の時期に合わせ、分水ロータリークラブをこちらにお招きすることも内定 致しました。

#### ■ ニコニコボックス

◆平澤理 本日のクラブフォーラム「ロータリー財団委員会」松田委員長、宜しくお願い致します。多 くの方のご寄付を期待致します。

◆杉本徳治 上伊那地区のコロナ感染警戒レベルが最大級のレベル「5」です。これにより暫くは、例 会は完全リモート例会となります。

本日は松田財団委員長のクラブフォーラムがあります。宜しくお願い致します。

◆田中真人 各会員の皆様から委員会報告ありがとうございます。皆様の活動に 感謝します。

松田さん、本日のクラブフォーラムよろしくお願い致します。

◆松田靖宏 今日はクラブフォーラムでロータリー財団委員会を行います。どうぞよ ろしくお願いいたします。



会員数47名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席率100% 前回出席率 修正なし



## ■ クラブフォーラム 「ロータリー財団委員会」 松田靖宏ロータリー財団委員長

地区補助金事業「未来へつなぐ森林(もり)づくり」



11月はロータリー財団月間ですので、今日は、ロータリー財団の活動に欠かせない寄付についてお話をさせていただきます。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育 を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和 を達成できるようにすることです。

年次基金(シェア)

詳しくはウェブサイトをご覧ください

その元になる財団の運営は、ロータリー会員から成るロータリー財団管理委員会によって管理されています。管理委員会は、ロータリアンが世界でよいことを行っていけるよう、寄付が無駄なく有効に活用されるよう監督しています。その証として、13年連続で、米国の慈善団体の格付けを行っている独立団体「チャリティ・ナビゲーター」により、健全な財務状況、説明責任と透明性への取り組みが評価され、最高の四つ星を獲得しています。

#### 1. 財団の年次基金について

年次基金は、地元や海外の地域社会で行われる補助金プロジェクトの資金源となっています。年次基金へのご寄付によって、地域社会のニーズに応え、国際的な友情を培う、ロータリアン主導のプロジェクトが実現されます。年次基金の仕組みですが、年次基金はクラブの活動を支える資金となります。例えば、年次基金(シェア)に寄付したとします。寄付は3年間、投資運用され、その後、各種プロジェクトに活用されます。

- ・DDF (地区財団活動資金) は、地区や海外での奉仕 プロジェクトに活用でき、その使途は地区が決定できます。
- ・WF(国際財団活動資金)は、グローバル補助金や各種の財団プログラムなどに使用されます。

地区補助金は、地区内ロータリアンによる年次基金への寄付によって利用可能となります。今年度に使用できる資金は、3年度前の年次基金への寄付に基づいていますので、将来に充実した活動を実施できるよう、 財団を継続して支援することが重要となります。

ロータリー財団への寄付の種類には、年次基金、恒久基金、使途指定寄付がありますが、この中の年次基金、DDF(地区活動資金)を使って今年は、「未来へつなぐ森林づくり」事業を行いました。新たにアルプスいーなちゃんソフトボールクラブの方々にも参加いただき、総勢70名で植林することが出来ましたことに感謝申し上げます。

# ます。 の財団プログラムなどに使用されます。

#### 地元のニーズに応える地区補助金

令和4年10月22(土)

## 「未来へつなぐ森林づくり」

ロますみヶ丘平地林へ広葉樹(コナラ)400本の植林

□参加者:会員・会員ご家族・伊那市・伊那西インターアクトクラブ アルプスいーなちゃんソフトボールクラブ 総勢70名

#### 2. 個人・クラブの認証について

- ・年次基金への持続的な支援がなければ、ロータリー財団のプログラムは実現しません。しかし、全会員が毎年100ドルの寄付をすれば、支援を必要とする人たちのための活動をほぼ倍にすることができます。年次基金に毎年100ドル以上を寄付する方を、「財団の友」会員と認証しています。
- ・年次基金、ポリオプラス、または承認された財団補助金に、1,000ドル以上を寄付する方をポール・ハリス・フェローとして認証しています。ポール・ハリス・フェローの認証は財団で最もよく知られた、個人を対象とする認証です。1,000ドルの寄付は、1回の寄付または複数回の寄付で達成できます。寄付者には寄付

ます。寄付者には寄付

次頁へ続く

1ドルごとに財団認証ポイントが1ポイント与えられ、そのポイントを使用してほかの人をポール・ハリス・フェローにすることもできます。そして、すべてのポール・ハリス・フェローに、ピンと表彰状が贈呈されます。また、追加で1,000ドルをご寄付いただくごとに、その寄付者は「マルチプル・ポール・ハリス・フェロー」となり、寄付者のレベルに相当する石の付いたピンが贈呈されます。

- ・ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)は、年次基金、ポリオプラス、または承認された財団補助金に、毎年1,000ドル以上をご寄付くださる方を認証するプログラムです。
  - ポール・ハリス・ソサエティの会員数は、現在145カ国に25,000人以上へと増加しました。年次基金におけるポール・ハリス・ソサエティ会員の寄付が占める割合は、ほぼ20%に達します。このことからも、ポール・ハリス・ソサエティの重要性が分かります。地区にとっては、地区補助金とグローバル補助金のための重要な資金源となっています。
- ・秀でた寄付を達成したクラブには、財団のバナーを授与されます。 100%ポール・ハリス・フェロークラブに授与されるバナーなど4つのバナーがあります。

#### 3. 寄付の方法について

クラブを通じた寄付が一般的ですが、財団への寄付にはさまざまな方法があります。

まず、定期的に寄付ができるロータリー自動定期寄付があり、オンラインで寄付を行うことができます。ロータリー日本財団のホームページから、寄付書式や寄付関連の情報を入手できます。

最愛の方の名義でロータリー財団に寄付したり、誕生日や結婚記念日を記念しての寄付を行ったりできます。 これらの寄付もすべて My ROTARY から行うことができます。

企業による上乗せ寄付も可能です。企業による上乗せ寄付を要請し、署名入りの寄付書式をロータリー日本 財団へ送付していただけば、残りの手続きは財団が行ってくれます。

どのような規模の寄付であっても、財団や世界中のロータリアンのネットワークを通じて活用されることで、大きなインパクトをもたらすことができます。

本年度も、年次基金へのご寄付に皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

□ 点 鐘 13:00

次回例会 12月6日(火) 点鐘/12:30 完全リモート例会 ・年次総会(次期役員理事発表、会計中間報告)